

昭和十七年十二月一日 (每月一回一日發行)

禁轉載

道路の改良

第二十四卷
第十二號

社團
法人
道路改良會

鋪裝報國

日本鋪道株式會社

東京・丸ノ内

社長 淺利 三 期

東京・大阪・福岡・札幌・東城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

飛行場舗装 道路舗装

加熱式アスファルト
アスファルト乳劑
セメントコンクリート

アスファルト乳劑製造



東京瀝材工業株式會社

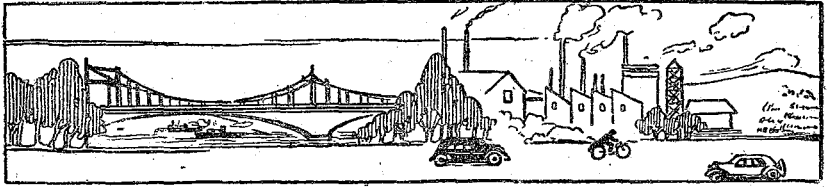
本社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地
(三和ビル)

電話(日本橋) 二六六六番
五五一一番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地

電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地



道路の改良第二十四卷第十二號 目次 昭和十七年十二月一日發行

卷頭言

論 說

戰時下に於ける運輸機關の重要性……………慶應大學教授 野村兼太郎(三)

研 究

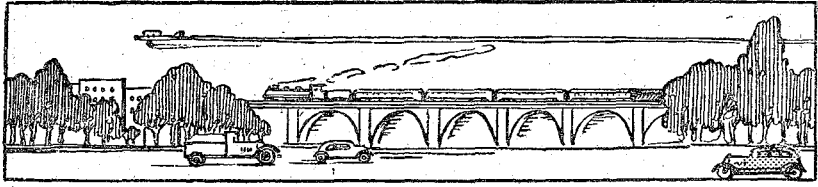
近東諸國の歴史産業交通の概況(一)……………多田基(三)
 獨逸道路交通法人及車輛ノ道路交通許可令(三)……………多田基(三)

說 苑

内務技監の今昔(八) 谷口三郎氏(一)……………清水生(三)
 道あるもの能く備ふ……………長谷川久一(四)
 道路及河川の愛護獎勵に就て……………京都府土木部 宇都宮靜男(哭)
 靜岡縣に於ける道路愛護運動(一)……………靜岡縣廳 左右田友三郎(哭)
 行政簡素化に伴ふ内務省及地方廳の機構改革と
 土木部課長の異動……………一 記 者(空)

土木出張所庶務部長事務打合せ會議開かる……………K 生(六)
 時 局 日 誌(六十二)……………Y H 生(七)
 村田陸軍少佐の講演「戦争と道路」……………(八)

内務省特報



内務省告示(千葉縣木更津市、十號線工事終了、一、二號線工事終了、奈良縣鈴鹿市)◎大東亞省設置に伴ふ各省の分局◎内務省分課規程中改正◎内務省生れて七十年の記念日◎内相訓示要旨◎臨時地方長官會議に於ける東條内閣總理大臣、湯澤内務大臣の訓示並に東條陸軍大臣の説示……………(一七)

地方通信

◎北海道黄金道路の改修◎福島縣下平市の鎌田橋成る◎茨城縣六號國道改修工事歟入式の舉行◎桃源橋假橋を架設◎高知縣に於ける愛護團體並優良工夫を表彰◎高知縣下に於ける常會の林道着工……………(一七)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………Y A 生(一〇〇)

厚生省令 第四十六條下水道法施行規則中左ノ通改正ス
鐵道、内務省令 昭和八年八月鐵道、内務省令自動車交通專業法施行規則中左ノ通改正ス

鐵道、内務省告示 大正十四年六月鐵道、内務省告示軌道營業報告書様式及統計報告書様式中左ノ通改正ス

雜報

◎内務省委員會◎臨時地方長官會議◎茨城縣六號國道起工式に於ける告辭及式辭◎理事三浦七郎氏◎河川協會總會◎清浦奎吾伯爵の薨去◎鐵筋コンクリート設計計算例(上卷)◎應用力學計算法(上卷)◎近刊圖書雜誌……………(一〇六)

叙任 辭令……………(一一〇)
編輯室の内外……………(一一三)

附錄 内務省、警視廳、北海道、樺太、各府縣主腦部表◎内務省、北海道、各府縣土木官吏一覽表、◎道路の改良總目次

工學博士 牧 彦七先生責任編輯

實用土木講座

特典附
新會員募集

內務技監
鈴木雅次
前內務技監
谷口三郎
前內務省大阪
土木出張所長
佐藤利恭

推薦

初級・上級共に完成!!

内容の一部
應用力学
鐵筋コンクリ
土木材料
土木工學
測量學
砂防工學
水力發電
都市計畫
以上初級の一部

セメント系舗裝
壓道
基礎
農業土木
航空土木
高速鐵道
土木地質學
應用電氣工學
土木工事監督
以上上級の一部

入會の絶好機
△初級一ヶ月三ヶ
月修了。會費毎月
一圓五十錢。送料
二〇錢。上級一ヶ
月修了。會費毎月
一圓七十錢。送料
二〇錢。何れも前納

内容見本申込み送急第一

工博牧彦七・工博青木楯男・
内務技師金森誠之・農博赤木
正雄・内務技師水谷精・鐵道
技師下武・農林技師倉品幸
吉・工博岩崎富久・他十數氏

東京市麹町區飯田町二ノ十一
日本土木工學會
振替東京二〇八三四番

鐵道工學會會長 八田嘉明先生監修

鐵道工學講座

新會員募集

會費一ヶ月二圓
五十錢全卷三〇
圓・送料二五錢
內容見本
申込
急送

- 全十二卷內容概略
- | | |
|-----------|------------|
| 1 鐵道地質 | 鐵道技師 廣田孝一 |
| 2 線路選定 | 鐵道技師 大木利彦 |
| 3 線路土工 | 部長 西岡宏治 |
| 4 鐵道橋 | 教授 成瀬勝武 |
| 5 鐵道墜道 | 鐵道技師 佐藤周一郎 |
| 6 軌道構造保線 | 鐵道技師 川口祐康 |
| 7 信號保安設備 | 所長 藤原孝一 |
| 8 停車場 | 鐵道技師 岡田信次 |
| 9 都市鐵道 | 博士 山崎匡輔 |
| 10 鐵道車輛 | 鐵道技師 多賀祐重 |
| 11 初級電氣工學 | 課長 池田陽男 |
| 12 工事關係法規 | 法學士 中島安一郎 |

東京市麹町區飯田町二ノ十一
鐵道工學會
振替東京五二二七番

土木設計計算例集

愛知縣土木技師 田島治身著

第1輯 **無絞コンクリート拱橋の近似
計算法** B5 100頁 ¥1.80

哈爾濱工大教授 高見太一著

第2.3.4輯 **鐵筋コンクリート設計計算例** B5 上 120頁 ¥2.30
中 100頁 ¥2.50
下 120頁 ¥2.00

神戸高工教授 江藤 禮著

第5.6輯 **應用力學計算法** B5 上 120頁 ¥2.50
下 140頁 ¥2.70

北支建設總署技正 有坂誠喜著

第7輯 **馬蹄型水路斷面計算法** B5 90頁 ¥2.00

愛知縣土木技師 田島治身著

第8.9輯 **木橋の設計計算例** B5 上 200頁 ¥3.50
下 200頁 ¥3.50

鐵道省技師 坂元左馬太著

第10輯 **土木工事の歩掛** B6 200頁 ¥2.50

本社編輯部版

水力發電所工事設計施工例

例 泰阜發電所

A 5,200頁
設計圖寫真
60數葉挿入
¥3.20 送 26

工學士・建築士 柳瀬 駿著

アメリカ工場建築事情 A5 200頁 ¥2.00
送 .14

横濱高工助教授 大泉博一郎著

建築便所の研究 B6 200頁 價 2.50
送 .16

横濱高工教授建築科長 中村順平著

近刊 **建築學** -總説編- B5.350頁 圖面寫真
約200葉挿入
¥10.00 送 .65

大東亞技術研究會編

南方技術 B5 第一輯90頁 ¥1.50
送 .06

南方關係の技術資料第2輯近日發行 B5 第二輯70頁 ¥1.00
送 .06

一月刊 **土木雜誌**

半ヶ年 3.00
一ヶ年 6.00
(送 共)

科學の振興と技術の公開をモットーとして數社合同新しく生れた國策雜誌なれ共 18年の歴史と最新の内容を有する土木専門の工學雜誌なり

◎御註文書籍・雜誌は總て書店又は直接本社振替東京151.195番へ

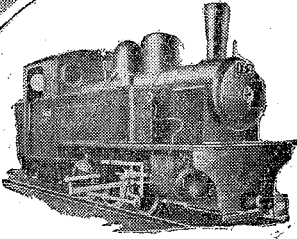
東京・丸ノ内
3丁目6番地

土木雜誌社

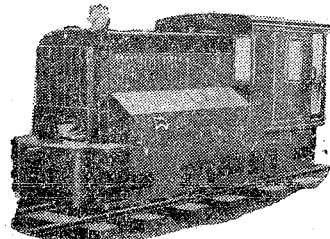
振替東京
151.195番

電話丸ノ内(23) 2633番

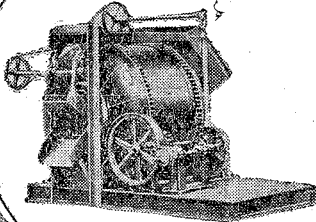
田中の土木諸機械



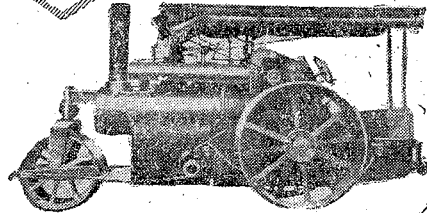
蒸気機関車



ガソリン重油機関車



コンクリート混合機



ステーム道路輻壓機

車研機利会

田中土鑛機株式會社

- 本社 東京市京橋區京橋三丁目七番地 (京橋際)
電話 京橋 (56) 5509・8340 番
- 工場 東京市足立區千住曙町三八 電話 足立 3924 番
東京市板橋區志村前野町一八五五 電話 板橋 0496 番
- 大阪支社 大阪市東區南本町四ノ一八 電話 船場 2850 番

昭和十七年

道路の改良

十二月一日

第二十四卷
第二十號

言 頭 卷

昭和十六年十二月八日は何たる日ぞや、大東亞戦争の大詔は煥發せられ、戦線と銃後とを問はず一億の國民は心を新たにし、感激昂奮われもくと職域奉公に志し奮闘努力克く戦ひ、克く勵み、勝利に次ぐに勝利を以てし、鑛産に米産にあらゆる産業に擴充が加へられた。我が帝國の眞の姿は此處に視らるゝに至つたが未だ達成の域に至らず國民の考慮し、熟思し、反省しなければならぬ事の多きものあるを思はせらるる。

智慧も逸樂も酒も大事業も地位も財産も音楽も、妻妾も凡て空なるもので此等を多分に持つとも苦難と失望と死とは免かるるを得ない、權力なるものは兎角弱者を虐げる、虐げらるゝ者の涙流るゝが之を慰むる者がない、虐げは必ずしも横暴な資本家の工場のみでなく高級なる家庭の奥にも此爲に涙を流す者がある。事業の成功を贏ち得た人も畢竟は嫉妬競争により得たるもの落伍者は徒らに人を羨み嫉み人生の無常と空虚とを感ぜざるを得ない。是亦空の空なるにあらずやとエビキニアン派的考察を加ふるものがある果して然るか。吾人日本人は理想に生き現實に活くべきである。

時局を認識するとき、大東亞戦争を戦ひつゝある、勝て勝て勝ち抜かねばならぬ、如何に長期に涉り人は變り代は移るとも此の目的は遂行せねばならない、而かも吾人の生活は不斷に繼續してをる、今日は昨日の連續であり、今日又明日へと連續する。此不斷の連續あるが爲めに昨日と今日との間に起る環境の變化は之を無視し又明日の變化を見落し勝ちである。昨日と今日、今日と明日の間變化は發生するのに之を見落し、我儘、私益、私利を謀りて止まる所を知らざる徒がある、彼等は須らく大東亞戦争を戦ひつゝある事實を直視し現實に即し對策を講じ不斷の生活を革めねばならぬのではなからうか。

大東亞戦争の完遂と大東亞共榮圏の確立とは吾人の理想である。此理想に到達せんとせば必ずや格段の飛躍的發展を遂げねばならぬ、政治と經濟には劃期的變貌が生起すべきである、依然として舊態の儘にあつてはならぬ、文化に藝術に科學に夫れ々の飛躍的發展が促されて居る。

何んと謂つても國民の一人一人が否國民全體が唯一の戦争目的と戦争必勝に挺身し實踐階段に入るべきである、佛のクレマソーは「吾人の政見は簡單である、戦争を遂行し戦争に勝つことである」と絶叫したが今日吾人の環境は此の外に出でない。吾人は此現實を直視して其の意志も態度も心構も實に一點に在る即ち敵に勝つことであり勝ち抜くことである。而して此に理想に到達すべき黎明が見らるる。吾曹は愈々戦争といふ現實に即して善處し而して一大理想に到達せんことを期すべきであると(汎民)